京城新報

人の一生は重き荷を負ふて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十三年　紀元二千五百七十年
本紙定價　▲一枚金二錢▲一ヶ月前金弐拾五錢▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金弐圓▲郵税一ヶ月十三錢
月曜日及び大祭日の翌日は休刊（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行一回金五十錢▲雜報欄特別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久馬太
印刷人　松久神一郎
京城南大門通（電話六六三）
發行所　京城新報社

露國の滿洲經營

在哈爾賓　禿山

▲滿洲事業の失敗　滿洲に於ける露國の事業は現今實に異常なる注意を要すべき狀態に在り露國の滿洲經營を今日まで持續し來れる如くに今後之れを繼續するは實に是れ絶望的失敗と云はざるべからず東清鐵道會社及び露清銀行の事業の眞相を一々茲に暴露せば恐らくは其の事實の意外に非らざるなきやを疑ふ程の意外なる狀態に在ると觀るべし

▲東清鐵道の事務局　東清鐵道の事務は永久に相調和するを得ざる二個所即ちセントピータースブルグと哈爾賓の事務局に委任せられ居れりピータースブルグなる同事務所は毎年二百萬留の[illegible]費を要し其の事務とては只だ鐵道事[illegible]をなす位に[illegible]

[illegible]ち鐵道[illegible]を露都部より撥[illegible]の貨物は悉[illegible]賃を拂ふ[illegible]も過言に[illegible]爲は今後[illegible]

●國債報償金の始末

紛議に紛議を累ねたる國債報償金の整理に就き又々去九日漢湖學校に於て關係者一同の協議を開き結局從來の放資を回收し内部の許可を經相當銀行設立に決定したりとの事なるが是に對する某消息通の言に據れば會員中右貸金取立に騒ぎ立つとも一人として法律正當なる權能を有する者なく從ふて債務者の何れもは眞面目に返濟の請求に應ずる者なかるべく到底は官邊の手を煩はすにあらざれば何等要領を得ること絶對に難事なり就ては這回の決議の如きも同與連の一時世間を糊ふ糊塗策にして例の小田原評定に終るべきは勿論の事ならんと

●山林の調査事業

農商工部山林局が從來調査したる山林は車逸、鐵路、襄陽、鳥嶺、安眠島、滿州嶋及莞島の六箇所十萬餘町歩なるが全國の山林は是れにて既に其の半ばを了りし由にて尚民有林に就きては山林法發布後三年以内に其の筋へ報告す[illegible]義務あり若し之れを怠りたる時は沒收せらるゝ筈なれば今日まで申[illegible]のもの一萬件以上あり是等も調査[illegible]進むる由にて保安林の如きも各[illegible]に編入濟のもの五六箇所あ[illegible]水源の涵養、土砂防止、魚附林[illegible]致等より編入すべきものにて[illegible]を問はざる筈なりと云ふ

清津附近の漁況

（四十二年十二月中）

[illegible]抹山半島西面の沿岸に建設せる[illegible]の角網は孰れも不漁なりき單に小[illegible]、イミンスを漁獲せるのみ盛期[illegible]へる失望は來るべき明太魚を當て[illegible]み居る模樣なれども未だイミンスの[illegible]來も全く見込無きに非ざるなり東海岸に建設の角網は稍々望みもありたれども本月初旬より網整略の爲め引揚げたるにより其實相を知るに由なし其他清津灣内並に獨津沖合に於て小手繰網を操業なすもの三隻あり日々盛々勇氣を鼓舞して寒烈肌を劈き四肢は凍凝して自由を缺ぎ五幹は爲めに知覺鈍[illegible]の日も尚は且つ辨せずして漁撈に從事して一日一隻二人乘り又は三人乘りにて十二三圓の漁利を占めつゝあり更らに之をして沖合手繰を奬勵なさば六人乘り一隻を以て優に三四十圓の漁獲は必然得らるゝものと信ぜらる而して手繰網に漁せらるゝ魚族は鰈、鮃、魴、かながしら、どこせ、ひらめ等にして是に從事するは多く石川縣及び秋田縣の漁業者なり近來雄基以北浦潘舘地岬角附近より豆滿江の間刺網釜（長さ四尺許り）盛んに漁獲あり現今韓人漁業者の釣を以て漁獲するあるのみ之を日本人手繰網又は刺網にて漁撈せんか北韓の特産物の一として大に見込みある漁のものなり由來北韓の海上と酷似せる石川縣秋田縣の漁業團續々出漁又は移住する者あるに至れり現に頃日石川縣廳より專門家を派遣して清津より以北十七八丁の所大西湖に三万坪の土地を石川縣漁業根據地として買收なし直ちに石川村と命名し今後大に漁業者の移住を勸誘して大發展を試むる計畫實現せり依て近き將來に於ては活氣に乏しかりし北韓在住の漁界も振作し從つて漁業者等も自然新智識を有するに至るべく尚は今後新移住者の堪能なる誘導は從來の委縮せる魚族に向つて大突進を爲し豐富なる海上に躍起し天與の漁利を飲ひるの期蓋し遠きに非ざるべし

本月中漁獲せる魚族種別數量等を掲ぐれば左の如し

鮑　連津及龍岱近海にて漁獲せるものにして潜水器は一臺現存するのみ其漁獲數は一萬七千餘にして價格は百六十圓許りなりき

鰈　清津附近にては角網及び韓人延繩を以て漁撈せるものにして其數四十二尾強なりき而して其價格は百七十圓弱なり

イミンス　主として清津附近建設の角網に網乘りせるもの其數僅かに二百尾弱價格六十圓許なり

イミンス　角網及び韓人釣漁にて獲たるもの此數三千尾許りにして價格百四十圓弱なり

章魚　主として潜水器の捕獲せるもの其數僅少にして六十個なり價格は約五十圓を算せり

刺鯛　雄基以北浦潘舘地より豆滿江に至る間に於て韓人釣漁にて獲たるものにして此數九千五百個許り價格は九百圓餘なりき

其他雜魚カレイ、ナマコ、〇ンコ、エイ等の漁獲金高千二三百圓ありたる耳也

日本銘刀傳

第十七席　邑井一　講演

さて正宗は入浴を致し清服に改めて座を占めますると、三人は次の間に兩手を支へ聲を揃ねて「御師匠樣、お目出度うございます」正「オ、三人共能く勉强して呉ました、ドレ意見を致さう、時に改めて言ふまでもないが、俺は決して依估贔負はしない、我が眼で見て心に適つたものを養子として娘に配遇せ、相州流の極意を譲るから左樣心得るが宜い」三人「ハッ」と頭を下げる、團九郎政近が一番の兄弟子であるから團九郎の鍛つた刀を手に取上げて鞘を拂ひ、鍔際から茎、刄裏、刄表、帽子尖から鍛の工合まで眺めて居たが　正「ヤア、團九郎」團「ヘー」正「貴樣の刀は何時にない不出來極まるものだ」團「ヘッ」正「此匂ひの浮きは何うしたものだ殊に細工中に女に心を懸けたと云ふ工合が見ゆる」團「ご、ご、御串戲を……」正「默れッ、其位のことが分からんで畏れ多くも天子樣の御佩刀の御用が勤まると思ふか、此の燒刀の曇の生じたのは、これ女に心を寄せた證據である、汝師匠より秘傳を受けんと欲す喘れの場所でありながら、女に心を寄するなど〻は不埒千万な奴、精神を籠め丹精を凝らすべき筈であるのに此不出來は何事だ、嗚呼、何とも言ひやうのない奴であるわい」とピタリ鞘へ納める次に喜左衛門村正の刀を引拔いて前と同じく、茎裏、茎表、横刀、金色、匂ひの浮き方を眺めて居たが、實に村正のは能く出來て居る、尖先より水の滴れ落らな有樣　正「ア、見事だ、切味は刀剣は凱私でさへ及ぶまい、然し汝のは情しいことに殺氣がある、其方の鍛つた刀は血を見なければ鞘に納まるまい、平生鍛ゐてある通り唯切れる計りが能ではない刀は元來人を斬るのが目的ではない、己れを守るものだ、身を守り國を守るべき寶であるのだ、然るに其方の氣象荒々しく唯切れろ〳〵と精神を籠めるから殺氣凛々たる刀が出來る從つて之れを持つ人に害を與へる其方の刀を持つものは其身に祟りがある、其方も又た我が家を相續すべき人物ではない」氣象の荒らい村正は瀬面朱の如く相成つて歯をギリ〳〵と切んで居る、次に彦四郎貞宗の刀をギラリ引拔いて見て居たが　正「ウム、其方の刀は二人に比らべれば切味に於て大に劣るけれども、其味平らかにしてノンビリとして居る、斯樣な穩やかな心を持つて刀を鍛ては別に間違ひはない、此の刀を帶ぶるものは生涯何事もなく其身平穩に納まることであらう、我が跡目を譲るものは貞宗の外はない、依て其方に相州傳の湯加減を譲り、不束なれど娘のたかねを妻とし、夫婦仲好く暮し呉れよ」と言はれて貞宗は飛立つ許りに悦びました、己れは政近、村正の二人の兄弟子あつてでも業に於て之れを凌ぐことが出來ないと覺悟を極めて居つた所だから夢かとばかりに思ひましたのも無理ならぬ次第であります、此時村正はハッタと正宗の顏を睨み　村「これ師匠今の御言葉は私には合點が往きません、刀は切れるのが目的、切れなければ何の役にも立ち申さん、然かも三人のうちで切味の一番劣つたる彦四郎を以て好しと有仰る師匠の心中、畢竟たかねさんが年も若し容貌も好い彦四郎に戀慕して居るのを明々地には言へぬので、要もない試驗をなすつたのであらう」正「默れ、村正、師匠に向つて口返答は何事だ、昔、孟子が云へる學者も言はれたり、矢人豈函人より不仁ならんや、矢を作くる職人は成丈人の身に矢の立つやうに〳〵と心掛ける函を作る職人は成るたけ己れの作りし函の堅固にして矢も鋼も之れを徹すことの出來ぬやうにと心掛ける、依つて矢の職人は不仁者となり鎧の職人は仁者のやうに聞ゆるが、決してさう云ふものではないと戒められてある、刀鍛冶が隣人を殺さう〳〵と心掛けなば益々不仁者となつて決して眞の名刀を得ることは出來ぬ、左樣な心掛けにては一生汝は名人となること覺束ないぞと深く戒しめられた。



京城新報

劇の開幕(二)

韓半島に及ぼす影響

滿洲に横溢し之を急ぐ所以のものは[illegible]近來露國保守派の機關ノーウォエ・ウレーミャ紙に據り日露國交の妨害にもなるべき非常なる文字を羅列し又或物に於ては好んで復讐戰を[illegible]かすが如きは全く一部頑冥派の[illegible]百年の[illegible]ソレだからして[illegible]

各銀行利下

京東電報

[illegible]

頗る漠然たる提議

滿洲

[illegible]

元老大臣の會議

[illegible]

中立問題と日露

[illegible]

開明派

[illegible]ウィッテ伯[illegible]

臥薪嘗膽

[illegible]

複線工事を急ぐべし、海軍の再造、鐵道

[illegible]

上院減租問題

[illegible]

伏見宮の御巡遊

[illegible]

統監府の大更迭

[illegible]

行政部の大刷新

[illegible]

墟田整理提出

[illegible]

韓太子の御避寒

[illegible]

法官任用令改正

[illegible]

歐州電報

土國政府の抗議

[illegible]

飛行家の大成効

[illegible]

紐育電報

滿州問題と列強

[illegible]

清政府は不同意

上海電報

支那政府は滿州日本鐵道中立提議問題に關し同案實現の曉には外交益々增加紛糾し且財政上の負擔其堪ゆる處にあらずとて不同意を唱ふ(十二日)

雜報

要塞地帯内の漁業

軍港境域内及要塞地帯内の漁業は軍事取締上特別の制限あるを以て漁業者の利益の爲め漁業區域を擴張し且つ出願處分の敏速を計る爲め農商工部にて鎭海灣要塞司令部と交渉を遂げ左の如く決定したり

一、鎭海灣は加德島南端及竹島猪島に於ける海岸より二百間以内の海面に於て一切の漁業を爲す事を得ず

二、要塞地帯第一區中猪島以西及同區の北西部より海軍防備隊に屬する漁業禁止區域に至る一定の區域内に於ては漁業法第九條の二風力又は汽力或は潮流により漁網を水中に於て引曳する漁業同條三の人力又は汽力により漁網を以て魚類を圍繞し漁船に繰上を爲す漁業同條四の潜水器械を使用する漁業を爲す事を得ず

三、以上を除くの外漁業法に規定したる手續を經て漁業を爲す事を得但當該官廳より漁業の免許狀許可又は鑑札を受けたるものと雖も尚は韓國駐劄軍要塞地帯取締規則により本人より要塞司令官の許可を受くるを要す

追て永興灣に關する取締は目下交渉中に就き不日決定すべしと云ふ

民團事件の範圍

京城民團事件に關する世人の風說は紛々として單に税金濫食事件のみに止まらず他に重大なる疑獄併發せるものゝ如く揣摩し居るが今聞く處によれば毫も左る事なきが如し之を其當局者の明言に徴するも事件の範圍は尚未だ税金横領界以外に及び居らざる事明かにして他の連座者は畢竟賄賂關係の事實發見したる爲めにして謂はば幇助犯位也と

●漁業者保護に就て

朝鮮海漁業盛ならしむる爲めには當局者に於て諸般の施設に勉めつゝあるが日本漁民に對しては主として移住漁業を奬勵する方針を以て可成便宜なる方法を講じつゝあり今水產局を二分すれば漁業の出願及其取締に關しては漁政課にて其任に當り事業の改良開發に付ては水產課に於てし現在に於ては漁政課に於て先づ漁業法に依る出願處分を一日も速かに整理して漁業者の營業基礎を鞏固ならしむることを第一着手とせ

●既定の産業補助費

韓政府は本年度臨時部豫算に於て産業奬勵補助費十三萬八千二十六圓を計上したるが右は豫定經費要求額に比すれば巨額の削減を受け殆んど契約又は命令に基くもののみに屬せり今其主なるものを掲ぐれば左の如し

漁船補助 元山	一万七千圓
木浦	一萬四千八百圓
釜山	三萬圓
大邱製造會社	一千圓
朝鮮水產組合	一萬五千圓
韓國中央農會	二千圓
蠶業補助	六千圓

右は既定の補助費目なるが其他に施行豫定額として作蠶飼育補助七百五十圓農事試作及桑苗補助費七千二百圓稻扱傳習所補助費千五百圓外數種の費目在

●平安南道の地方費

平安南道の地方費は總計九萬四千八十六圓〇四錢にして各道中尤も多額を計上せり今其の費途を掲ぐれば左の如し

經常部

土木費	三四、五一五、〇〇〇
衞生及病院費△	二、五二〇、〇〇〇
救恤及慈善費	六八〇、〇〇〇
勸業費	二、七一八、八八〇
道官吏費	八、八一〇、〇〇〇
補助奬勵費	一六、〇五九、二〇〇
地方費取扱費	六、七四〇、〇〇〇
豫備費	一〇、七九二、五六〇
計	九二、八三六、〇四〇

臨時部

勸業費	一、二五〇、〇〇〇
衞生費	一、五〇〇、〇〇〇
計	二、七五〇、〇〇〇
總計	九四、〇八六、〇四〇
△	二、五二〇、〇〇〇

●井上雅二氏送別會

小松、松井、明石、鈴木、菊池氏等の發起に係る井上雅二氏の送別會は一昨十一日午後六時より花月樓に開會せり來會者は宇佐川男、岡、松井、俵、國分、小松、小宮の各參與官渡邊法院長、國分檢事長、吉原副總裁、市原韓銀總裁、明石參謀長、古城民長、中村商業會頭其他朝野の名士二百余名先づ發起人を代表して熱誠なる送別の辭を述べ次で明石少將、戸叶大韓日報社長の送辭あり井上氏答辭を述べ倉富司法次官は立つて會衆と共に井上氏の爲めに祝杯を擧げ次で安住司法顧問官は倉富長官の作に係る井上氏送別の詩を代吟し夫れより花月、清華亭、井門、泉、有明の各樓藝妓の餘興ありて散會したるは午後十一時なりき

●學徒獎勵金の下賜

再昨年我皇太子殿下御渡韓の砌學徒獎勵金として殿下より金五千圓を御下賜相成りたるが當時の職員學徒に紀念章を頒布したる殘額を銀行預金とし年々其利子を奬勵費に充つる事となり居れり而して本年學期試驗の終りに於て皇太子殿下御渡韓當時の官公立學校六十二校の學徒中品行方正學術優等なるものに對し右の內金二百五十圓をそれぞれ物品にて賞與として授與する事に內定目下學部にて調査中なりと

●民團事件の整理期

京城民團に於ける吏の犯行調査に就ては既報の如く統監府より寺島屬を派遣し定期檢査執行旁々該事件に關する調査併行中なるが何分にも犯行の手段錯綜し容易に其緒を得るに苦み隨て兩端より順次辿りつゝある狀態なれば意外の時日を要すべきも要審に對する立證の都合上[illegible]其進行を急ぎ本月末迄には是非完結せしむべき豫定なりと

大屋夫人の急病

大屋韓鐵管理局長夫人は昨十二日午後發病し容態頗る重態なりと云ふ

●龍山の經濟研究會

龍山の有志者が經濟研究會なるものを組織し一般經濟界の事情を調査研究して龍山の發展に貢せんとするの計畫あるを報道せしが其後發起人は着々創立の準備を調へ數日前其の主意を居留民會議員に通じて意見を叩きしに何れも設立に贊同の意を表せしを以て來る十六日頃準備會を開き會則等を討議し引續き發會式を擧行すべしと

●客年中の民團事務

四十二年中に於ける民團の取扱事務成績を聞くに左の如し

居留	四、三三二	證明	三三一七
轉居	三、五四八	印鑑	二四〇
退去	八四五	閲覧	八七
出生	六五九	申告	一一二
死亡	五四七	雜件	八八

之を内地に比すれば廣島市と匹敵すと

●煉炭所の設立位置

平壤鑛業所擴張の結果煉炭所設置に決定したるが該器械は戰役當時に於て宮內府及佛國人の共同計畫に依り購入したる者ありしを使用する筈にて其据付位置は武田少將着任の上決定すべしと

●地方行政統一問題

兼て報導せし地方行政統一の件に關して閣內部次官は曾禰統監に稟議の爲め來る十六日上京の筈なるが該問題は最も近き將來に實行せらるゝ筈なりと

●菊池大韓醫長東上

菊池博士は大韓醫院擴張の用務を帶び十二日午前九時南大門發列車にて東上したるが總大臣等見送人多數ありしと

●銀行員の茶和會

經濟上の意見を交換する爲めに第一銀行時代より同銀行の有志者と度支部理財局高等官間に毎月一回茶和會を開きつゝありしが本年より韓國銀行の有志者との間に開會を繼續することゝなり其第一回を十二日午後五時より清華亭に開く由なり

●東亞工場の招待

東亞煙草會社京城支店長加藤氏は十二日午後一時より石塚長官各參與官中山統監府書記官各部大臣等數十名を大韓醫院前煙草製造場に招待作業の狀況を觀覽に供せる

●東拓總裁の招宴

東拓會社にては來る十六日午後六時より[illegible]翠樓に新聞記者を招待し新年宴會を開く筈なりと

白米商人の不埒

(小賣相場の不當)

昨年度に於ける日韓兩地の米作は稀有の豐穣なりしより供給は需用に超過し價格は暴落に次ぐに暴落を以てし地方農民は空しく傸を抱きて不景氣を喞てるにも關はらず當地に於ける日人米商の小賣相場は昨秋以來左したる下落を見ず今猶ほ十三圓十四圓を唱へ所に依りては十四圓五十錢を唱ふる向きさへあり、今試みに東大門外市場にての小賣相場を見るに最上白米一升九錢七厘若しくは五厘の立て値にして一石、一俵の賣價は九圓三四十錢の間を往來せり、更らに麻浦方面に至りては實に九圓、場合に依りては八圓八九十錢にて取引せられつゝあり、麻浦と京城、京城と東大門とに於て三割乃至四割の大差あるは抑も如何なる理由に依るべきか、聞く所に依れば當地白米商中に一二不良の徒ありて常に自分等に於て一般經濟上の事情に頓着なく擅に標準相場を定め不正の利益に慾を貪りつゝあるなりとか弁は兎に角當地に於ける白米小賣相場の格外に高きは以上の事實に徴して明白なりと云はざるべからず、と云はゞ韓人の白米は混沙多く食ふに堪ゑざるものなりと云はんも事實は之れに反して日商人の所謂最上米に比して遜色あるものにあらずと云へり當事者の反省と當局官憲の干涉を希はざるを得ず

●庵原課長の出張

來る二十日より釜山に於て開會せらるべき朝鮮海水產組合代議員會へは統監府よりは庵原漁政課長臨席して統監府及び韓政府の水產上に關する方針を訓示すべしと云ふ

●檜崎桂園氏引籠

大阪每日新聞特派員の同氏は本月五日以來病氣加療中なるが今回は引籠り靜養中なりと云ふ

●河村靜水氏入京

京城地方裁判所檢事の同氏は十一日入京巴城館に投宿

●齋藤金菊氏入京

蔘政課長の同氏は十一日入京し天眞樓に投宿したり

●上林書記官入京

度支部書記官上林敬次郎氏は十一日入京山本旅館投宿

在韓外國宣教師(上)

(某當局者の談)

昨今の新聞紙上に外國宣教師が韓人の排日思想を鼓吹し居れりとの報道を掲載するものあるに依り外國人側に於ても頻りに其の打消に努むるが如し吾輩は斯かる風說の無根なる理由を述ぶると同時に其の由つて來る原因をも語りて双方の安心を求むるは時節柄無益の業に非ざるを信ず

由來宣教師とても此の醜穢の現世を去りて清淨なる天國に登らぬ中は矢張り情慾を具ふる人間たるを失はず歐米の本國に於てさへ明僧智識が俗界の罪惡を犯して一円の物議を惹き起したるの例なきに非ず唯々遠く故國を捨て好んで蠻烟瘴霧の間に往來して一意神の道を傳へんとする宣教師の如きは其の志や殊勝なりと謂はざるべからず一二心得違ひのものありたりとて之を以て全班を推すが如きは獨り理由なきのみならず何の益もなき業なり、斯る人物に對しては宜しく之を指導して正道に歸へらしむることぞ大國民の態度とも云ふべけれ

蓋し韓國に於て基督教の盛衰に赴きたるは明治十五年以後に在り、清國より轉して韓國に來りたる「ドクトル」「アーレン」氏が宣教師より一躍して全權公使の要職に任ぜられたる實例こそあれ天主教暴動や義和團事件の如き騷擾の起りたること絶へてなければ韓國の宣教師が比較的温良なる人々なりしことは推知するに難からず、然かるに排日の主義の鼓吹者など〻誤らるゝは何故ぞと云ふに或は曰く彼の言行共に排日の態度を執れる「ハルバート」氏が再び韓に傳教會などにて演說し宣教師と同様の行動に出でしかば他の宣教師も亦た同氏と略しき人々なりと速斷するものあるが爲なりと、然れども吾輩想ふに斯に遠因の在るあり、そは日本や清國に於ては政治上には何等の不滿なき良民を精神的に教導せんとするに過ぎざりしかば、宣教師の立場も極めて單純なりしかとも韓國に在ては之に異なり宣教師渡來の當時に於ける韓民の生命財產の安固を缺きたる上地方役人共の收斂誅求に耐へずして常に政治上の苦痛を免かれんとせる境遇に在りしかば衣食足らずして禮節を知るに由なく、精神的の幸福よりは目前肉体上の苦痛を避くるの急なるを感じたるが如し於是乎宣教師は此等韓民の訴訴に耿し難くして遂に本職以外に於て韓國の奸官汚吏に對抗するの止むなきこともありたるならむ(未完)

제307호 1910. 1. 13.



拳骨

（四）　桃睡

新井沙汰が打止めとなつて継て、「失敬しやう」と呑海君が腰を上げる「僕も一緒に失敬しやう」続いて衆山君迄が起上つたから居士も聊か面食つた。

それ六夫人は勿論の事だ。

「一家の御主人が我が家に向つて失敬しやうもね可笑いぢやないか」

「なあに明朝迄さ、オイ帽子」と至極呑気な太平楽である。

「ハッハッハ、又沈没か、然う沈没許りして居ると浮ぶ瀬がないかも知れんぞ、併し悪くないね」此の男道楽事に不賛成を称へた例がない。

「オイ帽子だと云ふに…………」

それ六夫人は火鉢の側に座つたまゝ見向きもなさらぬ。

「オイ」と一足踏み出して例の胸を叩いて鼻を摘む。

「帽子なんか不要んさ」衆山君の肩に手を掛けた居士は其儘狭い玄関口へと進んで往く。

……て來た……れ……六夫人覚は……ば妾も一緒に……ら妾しれ……」と縋う

躁。「馬鹿な事を云ふな、擲ぞ」

「れ擲なさい」

「てん畜生ッ」忽ち鉄拳は躍り上つた夫人は泣いて寝み覚る。

かくて遂に衆山君も呑海居士の跡を追ふ、すぐ其處等では居士が高らかな朗吟が聞えて居る」

翌朝八十君は茶を喫んで、「昨晩の始末と云ふは先づざつと怒う云ふだつたのです」と呑海君とその細君を等分に見て如何ですと云はん許り。

「まあ真實にね」と細君は良人の顔を見て呆れる、

呑海君は只苦笑する。

「處が今朝の出來事が何大變、夫れ處の話ではないのです、花房も無論同道つて居るには違ひないが大体其の夫人なる人も餘りに喧嘩がなさ過る」

「第一良人がたて悪るいんです」と細君は詰る。

狂亂菊牡丹（一）

▲伯爵若殿の無情
▲知らぬは新夫人

茲二番町は馬鹿來いの寄せ太鼓響ましき邊り壽湯の筋向ひ掲げし看板も艶に媚かしき菊牡丹てふ艶々やかなる小間物店あり主人は誰と白浪の男の子の姿見せもせず商賈振の愛嬌は溢るゝ許りの一美人ましくも起居するにぞ要こそあれ暫の時一時にぞつと高まりしが誰いて其の異相を探り得たる者なかりし此の美人そも何所の何者そめたる艶菊の戀物語りの女ぞ實に此の美人なれいでや語り三年に渡る色懺悔花は都とが只これ命の多の素足に伊新橋二櫓の檜舞臺に艶名いとれなきるい子とて新橋屋の抱へにて其の本性は山田きく二十を二つ迄數へし今は花も實も盛りの白拍子わりき折る指も三星霜の其昔し時も霜月の半ばとかフトした會の餘波りが結ぶ縁の神となり類子拍子が此の情人と初の枕の其夜から心血濺けし戀人と云ふは未だ其の頃はい一ツ橋は高商の専攻科にて修業中の曾禰寛一とか云ふ子爵家の若殿御にして嚴父なる人は韓國の統監と云ふいとも厳かなる高官なりき。去るほどに曾禰若殿とれ類拍子の戀仲は柳陰架の古跡ならねど逢ふに積りつ別れに増しつ愈々深くなりけるが曾て電光の西東長き情の日を借さず何日しか若殿も業を了へ是れより實業界に乗り出さむの沙汰きにとなりければ茲に始めて結婚問題提出され伯爵芳川顕正家へ養子縁組の話纏まらんとなしければ流石若殿も卜胸と衝きサテ怒う〳〵と事の由を類子に打明け話もならず去りとて孝養全き若殿の身にはうを断らん勇氣もなく、兎角は三年の猶豫を乞ひて一と先安堵の隙もなく日韓兎新の成立は渡韓の止むなき事となり惜しき別を告げたるは一昨年の末なりき其の後の兩人の戀仲は燃うに積れど邊遠く偶々歸朝の度毎をせめて塞なく語り明して居たりしが女の身には氣もそゞろ積る想ひの遣る瀬なく戀に狂ひしるい子拍子は戀の重荷を脊負ひつゝ遂に渡韓を決心し後追つ駆けて來りしはつひ去る月の事なりし去るにても可愛戀しの殿御の事來る早々から世話焼かしては叱らぬ嫌ひから身は小間物の小商ひ屋號も殿御の紋所牡丹の二字にきくの我が本名を取合せ比翼連理の菊牡丹とは出來も出來たり曾根縞の紙治が昔にあらねども忍び逢ふ夜の睦言こそいとゞ切なき語らひなりき（つゞく）

勅書を種の詐僞

△前郡守御璽を僞造す

當時京城西部大貞洞前侍從院内に居住せる徐榮九といふは忠清南道の出生にて前に洞川郡守を奉職したることもあり多少の素養ある者なるが免官後は在京城の各新聞社を廻り漢字を教授しつゝ其日の糊口を支へ居たるが世は日進月歩するにつけ生活難に迫ばれて遂に悪心を起し已れが嘗て官吏たりし故に其間の消息に幾分通じ居るを幸い無智蒙昧なる韓人多きに乗じ膽太くも勅書を僞造しては彼等より金品を捲上げ私腹を肥し居たること京城憲兵分隊の探知する所となり昨十一日自宅に在るを逮捕せられたるが其際勅命として從二品に叙すとか或は正三品に叙すとかいふ書類数十通と勅命の寶（二寸角）宮内府の印（二寸角）宮内大臣の章（一寸角）と彫刻しある蠟印三個等動かす可らざる證據品を押收したりしが從來此種の犯罪は多數なるも印章の如き何れも紙判を使用し居れるに引換へ彼は蠟判を

遣る等要憲間潤なるだけ仕事も大仕掛にしてその嗜手に掘り財を失ひたるもの非常に多き由御道累者数名ある可き見込みにて嚴重に詮議中なり

三面電報

▲大坂相撲の番附

大阪　相撲一月の番附左の如く發表されたり（同上）

東方		西方	
張出大関	岩友		
横綱	大木戸	大関	放駒
関脇	西昇	関脇	大錦
小結	陣嘉	小結	大虎
前頭	大林	前頭	千舟川
同	扇海	同	綾瀬川
同	六ケ岑	同	男鈴山
同	勝時	同	瀧ケ谷
同	鳴岩	同	時の松
同	有知山	同	鳳車
同	松の香	同	朝日松
同	稲ケ嶽	同	松若
同	加古川	同	虎ケ嶽
同	小株	同	朝嵐
同	鶴ケ濱	同	朝日嶽
同	小錦	同	赤猩
張出前頭	玉の森	張出前頭	又泉

右張出前頭は前頭筆頭の張出なり

●鳥致院花柳界　不景氣風の大嵐も何日かは過ぎし新玉の鳥致院花柳界の景況てそまこさに凄まじき者なり年洞越りの三ケ日は元より五日の雜煮七日正月十日戎須の此頃迄殺る盛なしの絹切れにて約束以外の花先きは氣の毒ながらの御挨拶中にも菁山亭の類子松玉樓の花子拍子の全盛は其の聲さへも嗄れ果てゝ血を吐くまじき有樣なり僧も昨年龍山落ちの蕎當にて忽然人氣を落したる菁山の二三拍子も流石は女將の仕込だけ新玉の年と共に人氣回復十八番の奥三郎と相も變らぬ好い喉で再びヤンヤの大人氣今は松玉の龜子拍子さ敗けず劣らず相對し渡庭較べの最中とは面白し

●浮流水雷の爆發　蓄威二十一日咸鏡北道雄基を去る南方三里の海岸にて圓形の周圍七尺五寸余の浮流水雷漂着せるを發見し雄基憲兵分遣所にて警戒中なりし處廿九日永興灣防備隊より石川海軍大尉下士卒三名を從へ小川分遣所長以下五名立會の上雄基税關監視所より和船一艘を借受け同日午後二時是を爆發したり

●たゑんの再勤　京城花柳界の大立物たりし花月のたゑんは昨年一度び廢業して郷里廣島に歸り居たるが今回再び當地に來り元々通り花月樓より名も其儘にて一昨十一日より再勤したり前きには若一、房江の逆戻りあり今又たゑんの再勤此の上れ千代が歸つて呉れば一層の御慰み花月は却々味があると見へる

●一昨日の新町　新町遊廓一昨日の揚り高は遊客九十九名に對して五百四十三圓四十六錢の水揚なりと一日毎に錢らかづゝ減じ往くは心細し

中村福圓優來る

△十七日歌舞伎座開場

寿高屋事中村福圓は老優中村梅玉（先代福助）の門下にして若手俳優の腕達者として關西の劇界の評判者なるが去る一日釜山座に乗込み同地に開演中當地の興行師阪本吾市氏と約整ひ愈々來る十六日當地に乗込み翌十七日より旭町歌舞伎座に於て開演する筈なり、初日の演物は前『高根雪伊達實記』大序より對決迄外に御目見得御曲切り「新版歌祭文お染久松」『同討累花の吉野山』にして一座の俳優は福圓を筆頭に市川眼若、中村梅女、同福三郎、同菊三郎、同菊太郎、嵐吉藏等にして落俳優の圖總として韓國にては曾つて見ざる大一座なりされば座方に於ても日夜開演準備に忙殺されつゝあり尚ほ舊元阪本氏は昨冬部合により數年打ち續けし寄席と絶緣し獨立にて歌舞伎座に旗揚げせし者なれば只管世人の同情を得ん事に腐心し興行上に關する從來の悪弊を一掃し努めて觀覽者の便利を計り且つ雨天にても休場せざるのみか當の木戸錢を無料とする筈なりと久しく舊劇に喝した事とて定めて好結果を得るなるべし

▲演藝　壽座伊東文夫一派本日の替りは『亞の涙』七場にして配役左の如し　有馬清造（小泉）有馬小太郎（藤島）松本公爵夫人（小泉英）警部（泉）岩田林造（高井）車夫粂吉（芳川）藤川來亡人（横山）令嬢秀子（小水野）町長丸山文左衛門（伊東）

各地の新聞

▲ストライキ保險　羅馬にストライキ保險會社成立せられんとし商業會議所は其創立に對し一万法の補助金を呈出せり

▲通行中に横死す　七日午後六時頃東京神田區三河町二の三石田留之助（三）が荷車に電柱を積み同區今川小路の一五番地先を通行中後より來りし江戸川行の電車（三二五）と衝突し電柱を跳飛ばされたる途端折悪く通掛りたる同區三崎町三の一番箱商山崎弓京（五）は其電柱の爲めに強く頭部を打たれて即死したり

▲分署長謝討さる　東京牛込區早稲田分署長高橋警部は七日夜九時頃部下の山下部長と巡査二名を自宅に招き酒宴を開きたるに山下部長は非常に酩酊したるより署長自ら山下の自宅へ送り届けて歸らんとするを何者とも知れず闇の中より飛出し來り鐵拳の御馳走をしたるより署長は這々の体にて早稲田分署へ駈込み謀査として捜索せしめたるも加害者は遂に判らず

▲列強國の海軍費　千九百九年より十年に亘る列強海軍費を擧ぐれば左の如し

國	海軍費
英國	三億五千百四十二萬七千圓
米國	二億八千七百七十八万七千圓
獨國	一億九千七百三十八万一千圓
佛國	一億三千三百五十三万八千圓
露國	一億二十八萬八千圓
日本	七千二百二万八千圓
伊國	六千七百五十五萬二千圓

吉凶鏡

本町五丁目　三一館判

●一月十三日月齢十二（三碧先勝戊）●實除三りんぼう△一白　長上の者より御歴にあふわり其他諍事の日なり△二黒　事業職務の上に思惑違の結果起り易し盗失防ぐべし△三碧　非運の日なり交際上取引上共に留意すべし肉親者△四緑　壯者は（小盗難）紛失防ぐべし△五黄　職務上失念過誤あり衝突爭論あり色情遊惰の破れを愼しむべし他は平凡△六白　因循機を失し自負失防ぐべし△七赤　誘引動却あり負傷を防ぐべし△八白　人と利欲の衝突あり身に心身を傾注する勿れ悔あり取引實買注意すべし△九紫　あり婚姻養子共同組合の事良好　爭論を避ぐべし火氣を扱ふ業務には火の元要心すべし其他大抵吉

襟帶締其他紐類各種

京城明治町一丁目 電話一千四百〇九番 ゑり德商店

▼（四九三）希望者は來る京城支店へ 丁讓迄の男子身元引受確實なる者 屋本店

瑞西タバン時計會社韓國代理販賣店
米國ウォルサム時計 米國アンソニヤ時計 韓國特約販賣店
獨逸國スカンジヤ自轉車特約販賣店

時計卸商 仁川本町三丁目 喜多金光堂本店 電話七五〇番

時計卸小賣 京城本町二丁目 喜多金光堂支店 電話千十五番

營業擴張廣告

地家屋並に品擔保 最低利に取扱申候 …は日步に 御電話又は郵便… 下記… 早々御申越被下候

質企業

京城竹園町二丁目 樋下田本店 （電話九三二番）

京城相生町（南大門通魚市場裏） 樋下田支店 （電話一四三九番）

龍山清水町六十三番戶 樋下田支店 （電話四〇四番）



くつさき 防寒用各種

毛布 たびさき かいまき わた 類

代理店 京城本町一丁目（長谷川町へ通る） 栗永商店

如何なる小さき注文を用ゆるも差支なし

代理店 京城南大門通三丁目 新井藥房本店 電話（九百四番）（千六十八番）

京城本町三丁目 新井藥房分店 電話（四七八番）

入院隨意 內科 外科 小兒病 梅毒淋病 京城本町三丁目 高井醫院 院長 陸軍軍醫正 高井 良治 電話（二一六）

●●●滋養と牛乳●●● 純良牛乳 京城東四軒町 岡野牧場 電話壹〇六九番

馬車配達 ●●●衛生と消毒●●●

統監府 裁判所 監獄署 警察署 法規提要

●全一冊●紙數凡六百頁○菊判半截形●定價金六十錢

石川高等法院判事閱 今村內部警務局警視閱 日韓印刷株式會社編輯部編纂

◎印刷鮮明 ◎類纂整然 ◎校正嚴密 ◎攜帶便利

本書發賣以來未だ旬日に滿たざるも意外の好評を博し日々數百部の御注文に接し官衙の至りに候就ては猶一層奮發致し大目を節約、官制、官規、官等、等級及俸給、其他任用、裁判所、檢事局、監獄署の八項に增加し本月一日の現行法規として其の遺漏なきは勿論索引を添して一覽にて見出し易からしめ、餘白を存して隨時御記入の便に宜しき等設備の完全を期し聊か愛顧に酬ゆるの微志に有之就ては更らに本月十日迄御申込の順序に依り配本に着手可致候間此際に於て御購入の御方に限り前回廣報の通り特別減價を以て御需應に可申此際續々御用仰せ付られ度奉願上候敬具

明治四十二年十二月一日

京城 日韓印刷株式會社出版部

資本金 一千萬圓
積立金 五百十萬圓

株式會社 第一銀行京城支店 電話一一番 六一一番

銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候

本店 東京市日本橋區兜町

支店及出張所 大阪、京都、橫濱、神戶、名古屋、四日市、下關、新大阪町（東京）、兵庫、伏見、西京（大阪）、釜山、

其他日本韓國各地並に海外樞要の場所に爲替取引先有之候

兎角世の中は輕便に限る

●月賦提供は京城時計興振會は輕便主義を以て生る
●本會は多年の眷顧に酬いん爲め此便法を案出せり
●本會は一時に多數の時計を提供するを以て卸賣同樣なり
●本會會員は空前の提供を受けて尙多大の利益あり

來れ此便法を利用せんとて

要項

本會は十ケ月月賦にて左記の通り御申込の一を會員に提供し各種一百人を限る故に滿員とならざる內至急御申込相成度候

提供品目

一號 米國製十八金側無双中時計定價一百圓也特別金八十三圓也（每月八圓三十錢掛）

又は英國製エキセス堅牢自轉車定價一百十圓也分特別金八十三圓也（掛込前に同じ）

二號 貴婦人持米國製十四金無双金時計定價五十圓の分特別金四十圓也（每月四圓掛込）

三號 銀側無双十二サイズ男持又は〇サイズ女持定價二十圓也分特別金十八圓也（每月一圓八十錢掛込）

四號 銀架地無双男持又は銀片硝子女持定價十五圓分特別金十三圓也（每月一圓三十錢掛込）

右の通り精良品を驚くべき低價にて會員に提供するは本會の誇りとする處なり

輕便ト趣味

●每月五日抽籤を以て一號每に一個宛を當籤者へ相渡す
●最初の當籤者は八圓三十錢にて十八金側無双中釜付米國ウォルサム會社製石入極上アンクル器械の時計定價百圓也の分特別減價金八十三圓也の金側時計を最先に得らる
●此他の品も總て之れに準じ十分の一にて最先に得らる
●滿會の節には一等紳士持金鎖及金方針を始め末等と雖も丸形置時計等の大景品を進呈一本も空籤なし是れ會員餘分の利益なり
●現品は募集期間下記の取扱店及取次店に陳列して高覽を仰ぐ
○詳細は本會規定書にあり郵券二錢御封入御申込次第早速進呈可仕候

取扱店

京城本町六丁目	市川時計店
同 南大門通三丁目	加藤時計店
同 鐘路通一丁目	赤帽子時計店
同 本町四丁目	中村時計店
同 本町二丁目	織居自轉車部
同 本町一丁目	小森時計店
同 明治町一丁目	寺島時計店
同 本町一丁目	金化堂時計店
同 本町五丁目	三浦天龍堂

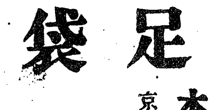
取次店

京城本町四丁目	織居時計店
同 本町二丁目	喜多金光堂支店
同 水樂町	河合時計店
京城鐘路通一丁目	加藤時計店
龍山 榮町	福富時計店
同	鹽谷天眞堂
同	川添天光堂

（理事廳認可）月賦提供 京城時計興振會

醫學士北村一等軍醫正（呼吸器病及消化病擔任）を名譽院長とし其他院長以下各科分擔一般の診療に從事す 但し名譽院長出診は每偶數日（丁日）午後とす

病室落成 入院隨意 貧民施療 贊化病院 本町四丁目 電話二四番

東京足袋  本店東京 京城大和町一丁目（日の出橋際） 大和屋 藤井出張店 電話二百〇五番

正札付大安賣 厘毛引なし 安心して買へ升

齒科治療 本町六丁目 ドクトル 中村安子（鰻そば橫町）

時節柄敷物及夜具等新調仕り室內の設備も相整申候 御客樣に對しては叮嚀親切を旨とし調理の義は從來よりも一層勉强可仕候間倍舊の御引立奉願候

京城南山町四丁目 原金旅館（電話一一一五番）

生儀多年福岡醫科大學皮膚科教室（皮膚病黴毒泌尿生殖器）科教室）奉職の處今般辭職左の處に開業專ら皮膚病黴毒病膀胱病（生殖器機能障碍）の診療に從事

診療（午前自八時正午迄 夜間自五時九時迄） 入院隨意

南大門通三丁目 支那領事館前通 京城郵便局後 院主 佐藤伊勝 佐藤皮膚病院 電話二一七三番

特約販賣 自製

漬物 味噌製造元 醬油 京城本町五丁目

和洋酒、罐詰、穀物麵類銘茶、鑵詰、乾物、物食料雜貨、ビール、米糀、塩辛、日本食鹽荒物、其他各種特約販賣 尙御望に依り商品切手調進仕候

大上商店（電話二五一番）

●電話開通八百三十五番●

唐津石炭直輸入商 並ニ平壤無煙炭あり

京城太平町一丁目九五 南大門高等女學校裏通り 近藤商店

★株式會社百三十銀行 京城本町二丁目十五番戶 韓國京城支店 電話五十八番

資本金五百萬圓 頭取 安田善三郎

爲替取組先

畿內 大阪、京都、西陣、伏見、奈良、山八木、高田、田原本、栗、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戶、平野、住吉、茨木、下市

東海道 東京、橫濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道 彥根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、靑森、秋田、能代、高崎

北陸道 小濱、福井、敦賀、鯖江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、宮津、舞鶴、新舞鶴

山陰道 米子、境、松江、久手、大田

山陽道 龍野、姬路、西大寺、笠岡、高梁、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、玉島、福山、鞆、府中、尾の道

南海道 下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾鷲、州本、撫養、德島、丸龜、高松、八幡濱、川之石、宇和島、今治、西條、松山、三津ケ濱

西海道 直方、飯塚、博多、福岡、若松、門司、久留米、若津、中津、小倉、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲

北海道 函館、小樽、札幌

台灣 臺北、臺南

清韓國 仁川、釜山、元山、鎭南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、全州、馬山

銀行一般の業務精々便利取扱可申候

資本金 參百萬圓
積立及繰越金 九拾萬圓

京城南大門通 株式會社十八銀行支店（電話四二〇）

銀行一般業務精々御便利に取扱可申候

本店 長崎市築町
支店 京城、龍山、仁川、木浦、釜山、元山、羅州、群山 出張所 大阪、熊本、佐世保、嚴原、五島、壹岐

其他日本、韓國樞要地、及露領浦鹽に爲替取引先あり

貯蓄預金 一口壹錢以上何程にても御預り申候（利息日步壹錢四厘）

長崎貯蓄銀行代理店（十八銀行京城支店）

日本郵船株式會社 仁川出帆廣告 電話二十番

貨物及船客取扱店 仁川海岸通 電話三九番 郡回漕店

●釜山、長崎、門司、神戶行 山東丸 一月十五日後三時出
●大連行 高砂丸 一月十八日正午時出
●大連、芝罘、秦皇島行 山東丸 一月三十日午前六時出
●大連行 酒田丸 二月三日正午時出
●釜山出帆 元山、清津、浦鹽行 立神丸 一月廿六日午後二時出

御注意 御乘船ノ際ハ我國波止場ヨリ本船迄送迎艀ニテ御送リ可申候送迎艀ハ本船出帆ノ五十分前ニ解纜ノ事